

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 3年 6月 21日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県大和郡山市池沢町337

氏 名 ハウス食品株式会社 奈良工場

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0743-56-0661

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

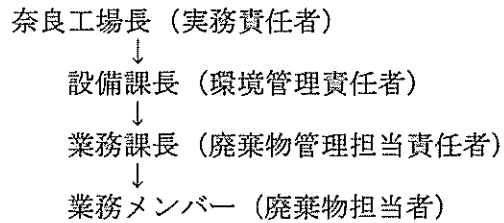
事業場の名称	ハウス食品株式会社 奈良工場
事業場の所在地	奈良県大和郡山市池沢町337
計画期間	令和3年 4月 1日～令和4年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	食品製造業
② 事業の規模	年間生産金額 363億円
③ 従業員数	459名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥→中間処理→再生処理業者に委託→他の汚泥や重油と混合→燃料で販売・動植物性残渣→再生処理業者に委託→混合・熟成→肥料として販売・廃プラ・紙屑類→再生処理業者に委託→固形燃料として再資源化・木くず→再生処理業者に委託→破碎→原料用チップとして販売・廃油→再生処理業者に委託→他の廃油と混合→燃料として販売・活性炭→再生処理業者に委託→焼却→路盤材に再生・蛍光灯→再生処理業者に委託→破碎→分別→原料用として販売

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	排 出 量	1,259 t	513 t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃棄物の分別の徹底		
「別紙のとおり」			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	排 出 量	1164 t	475 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 原料ロスの削減		
「別紙のとおり」			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 製造ラインで発生した製品ロス品は包材、動植物性残渣に分別を徹底しています。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物分別一覧表の見直しによる分別の細分化を図っていきます

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,069 t	— t
(これまでに実施した取組)			
・汚泥を脱水装置で減量化しています。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,035 t	— t
(今後実施する予定の取組)			
・今後も汚泥を脱水を継続していきます。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	全処理委託量	139 t	513 t
	優良認定処理業者への処理委託量	59 t	315 t
	再生利用業者への処理委託量	139 t	513 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
「別紙のとおり」	(これまでに実施した取組)		
	再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を図る製造工程で発生するロスの削減に取り組んでいます。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残差
	全処理委託量	129 t	475 t
	優良認定処理業者への処理委託量	55 t	291 t
	再生利用業者への処理委託量	129 t	475 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
「別紙のとおり」	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>優良認定処理業者を選定します。 処理委託先は年1回の現地確認の視察を実施します 分別の徹底と廃棄物の削減に取り組みます</p>		
※事務処理欄			

「別紙」

産業廃棄物の排出の制御に関する事項

現状【前年度 令和2年度の実績】

廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定業者への 処理委託料	再生量業者へ 処理委託料
廃プラスチック類	286	43	286
動植物性廃油	12	0	12
廃油	1	0	1
金属くず	10	10	10
木くず	1	1	1
活性炭 (七ヶ丘)	5	5	5

産業廃棄物の排出の制御に関する事項

目標【令和3年度の目標値】

廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定業者への 処理委託料	再生量業者へ 処理委託料
廃プラスチック類	265	40	265
動植物性廃油	11	0	11
廃油	1	0	1
金属くず	9	9	9
木くず	1	1	1
活性炭	5	5	5